

【日の出入り・月の出入り表】

2026年 7月

提供: 国立天文台

日	日の出	南中時	高度	日の入り	月の出	月の入り	月齢 12:00	備 考
	時:分	時:分:秒	度	時:分	時:分	時:分		
1	5:15	12:24:58	79.9	19:34	20:47	5:54	16.0	
2	5:16	12:25:09	79.9	19:34	21:21	6:53	17.0	半夏生※2
3	5:16	12:25:20	79.8	19:34	21:52	7:53	18.0	
4	5:17	12:25:31	79.7	19:34	22:20	8:52	19.0	
5	5:17	12:25:42	79.6	19:34	22:47	9:52	20.0	
6	5:18	12:25:52	79.5	19:34	23:13	10:51	21.0	
7	5:18	12:26:02	79.4	19:34	23:41	11:52	22.0	小暑※3、地球が遠日点通過
8	5:19	12:26:11	79.3	19:33	--:--	12:55	23.0	下弦、海王星が留※5
9	5:19	12:26:21	79.2	19:33	0:12	14:02	24.0	
10	5:20	12:26:29	79.1	19:33	0:47	15:14	25.0	
11	5:20	12:26:38	78.9	19:33	1:31	16:27	26.0	
12	5:21	12:26:46	78.8	19:32	2:24	17:39	27.0	
13	5:21	12:26:53	78.7	19:32	3:27	18:44	28.0	水星が内合※1
14	5:22	12:27:00	78.5	19:32	4:39	19:39	29.0	新月
15	5:23	12:27:07	78.4	19:31	5:55	20:25	0.7	
16	5:23	12:27:13	78.2	19:31	7:09	21:02	1.7	
17	5:24	12:27:18	78.0	19:30	8:19	21:35	2.7	
18	5:24	12:27:23	77.9	19:30	9:26	22:03	3.7	
19	5:25	12:27:28	77.7	19:29	10:28	22:30	4.7	
20	5:26	12:27:32	77.5	19:29	11:29	22:58	5.7	海の日、土用の入り※4
21	5:26	12:27:35	77.3	19:28	12:29	23:26	6.7	上弦
22	5:27	12:27:38	77.1	19:28	13:28	23:57	7.7	
23	5:28	12:27:40	76.9	19:27	14:28	--:--	8.7	大暑※6
24	5:28	12:27:41	76.7	19:27	15:26	0:32	9.7	水星が留※5
25	5:29	12:27:42	76.5	19:26	16:23	1:12	10.7	
26	5:30	12:27:42	76.3	19:25	17:16	1:58	11.7	
27	5:30	12:27:42	76.0	19:25	18:04	2:50	12.7	
28	5:31	12:27:41	75.8	19:24	18:46	3:46	13.7	土星が留※5
29	5:32	12:27:39	75.6	19:23	19:23	4:46	14.7	木星が合※1、満月
30	5:32	12:27:37	75.3	19:22	19:55	5:46	15.7	
31	5:33	12:27:34	75.1	19:22	20:24	6:46	16.7	

* 佐世保市(東経129.7156°, 北緯33.1800°)を基準に計算しています。出入り時刻は地平線での時刻とお考えください。

* 月の出、月の入りが起こらない日があります。月齢は12時で計算しています。

※1 天体が地球からみて太陽の方向にあるのを「合」、反対方向にあるのを「衝」といいます。外惑星の場合は、「合」のとき地球から最も遠くなり「衝」の時最も近くなります。(最も大きく見えます) 内惑星(水星と金星)の場合は、太陽よりも遠い位置にある「外合」と、太陽より近い位置にある「内合」があります。

※2 雜節の一つ 意味: 夏至から11日目に当たる日。梅雨が明け田植えの終期とされる。

※3 二十四節季の一つ 意味: 暑気に入り梅雨のあけるころ

※4 土用: 四立(立春・立夏・立秋・立冬)のおよそ18日前をいう。最終日が四立の前の日・節分になる。

※5 惑星は、通常天球上の恒星の中を西から東へとゆっくり移動(順行)していくように見えますが、時に東から西へ移動(逆行)することがあります。その移動の方向が変わる瞬間を「留」と言います。その後、再び西から東へ移動するようになる瞬間にも「留」となります。

※6 二十四節季の一つ 意味: 夏の暑さが最も極まるころ。